

鎌ヶ谷市 事務事業評価表（簡易評価表）

NO	会計	款	項	目	施策	事務事業名	担当課	主要 施策 対象	うち多 額の 経費	①事務事業の概要 ②課題(目的に対する現状など)	27年度決 算額[千 円]	28年度決 算額[千 円]	総合評価	①評価の理由 ②平成29年度に取組む改革・改善内容	29年度予 算額[千 円]
1	一般	3	1	1	111地域で支えあう福祉社会の形成	社会福祉事務に要する経費	社会福祉課	○		①地域福祉の中心的な役割を担う社会福祉協議会への活動助成。被災者の適切な支援や福祉健康フェアの開催。社会福祉法人に対する監査の実施。 ②地域福祉を推進していく社会福祉協議会との連携が課題。少子高齢化等の影響による福祉の担い手が不足。自然災害等による被災者支援の増加。	51,259	53,966	6精査・検証	①少子高齢化をはじめとした、本市の地域を取り巻く様々な課題に向け、ボランティアの育成や相談支援等、地域福祉活動の充実強化を図っていく必要があるため。 ②社会福祉協議会に対する補助金増額(地域福祉コーディネーターの確保)により地域福祉を促進する。福祉健康フェアの参加者及び参加団体の多様化を図る。	58,166
2	一般	3	1	1	111地域で支えあう福祉社会の形成	民生委員・児童委員に要する経費	社会福祉課	○		①民生委員児童委員及び主任児童委員の調査、相談活動を行うための活動費を補助する。 ②ひとり暮らし高齢者や生活困窮者の増加、子育て支援の拡充など多種多様な課題に対し、委員の負担が重くなってきており、民生委員児童委員及び主任児童委員へのフォローが課題。	6,325	6,382	6精査・検証	①民生委員児童委員及び主任児童委員は、厚生労働大臣による委嘱により法に定められた職務を遂行する必要があるため。 ②民生委員児童委員の欠員を補充する。研修等への参加により専門性を高める。(本年が民生委員制度100周年に当たる。)	6,512
3	一般	3	1	1	111地域で支えあう福祉社会の形成	地域福祉に要する経費	社会福祉課			①誰もが住みやすい地域づくりや、安全で安心して暮らせるまちづくりを目指して、地域福祉に関する各種事業を行う。 ②地域の日頃の見守り活動や避難行動要支援者への支援が課題。	2,023	6,322	6精査・検証	①高齢化、核家族化などにより、地域のつながりの希薄化が年々進んでおり、支えあいを充実させる必要があるため。 ②災害時要援護者避難支援計画を避難行動要支援者避難支援プラン(全体計画)として改定し、避難支援体制を構築する。	2,876
4	一般	3	1	1	111地域で支えあう福祉社会の形成	戦没者遺族等の援護に要する経費	社会福祉課			①市戦没者追悼式の開催、特別弔慰金・給付金等の申請經由事務(法定受託事務)、その他遺族の援護事務。 ②戦没者遺族の高齢化が進み、国・県・市の追悼式への参列が難しくなっている。	557	560	6精査・検証	①遺族の高齢化が進み、援護対象者は漸減してきているが、戦没者の追悼、平和の大切さを啓発することは大事である。 ②戦没者等の遺族に対する特別弔慰金(第10回)の申請事務を適切に処理する。	568